

令和5年度 教育研究推進計画

教務部

学校教育目標

気づき 考え 実行する 主体的な子供の育成
～ つながる 挑む 考動する ～

研究主題

伝え合う良さを実感できる表現力の育成
～児童の資質・能力の向上を目指したキャリア教育の視点における
評価方法の開発を通して～

1 主題設定の理由

三次中学校区は、令和3年度より広島県教育委員会指定事業「キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業」に指定され、小中3校で「9年間で育成したい資質・能力（①コミュニケーション能力②協調性③主体性）」を共有しながら、研究を進めている。

コミュニケーション能力：自分の考えをもち、他者の思いを受け止め、言葉で伝え合うことを通して、お互いを理解し、認め合える。

協調性：目的と目標を共有し、目標達成のために、自らの役割を理解し、他者と協力できる。

主体性：自らの夢と志をもち、自ら行動し、積極的に他に貢献しようとする。

昨年度は、三次中学校区で共有している「資質・能力に係る系統表」をもとに、1年後に目指す姿を「キャリアログ」で示し、児童と共有した。また、総合的な学習の時間を中心として、「キャリアログ」を基にしたルーブリック「できた度表」を示すことで、目指す姿を児童と指導者が共有し、授業を行い、評価することができた。ルーブリック「できた度表」を活用していくことで、次回への改善策を児童と共に考えながら次の授業へとつなげ、表現力の向上にむけ取り組むことができた。今年度も3つの資質・能力が高まるよう、研究主題を「伝え合う良さを実感できる表現力の育成」（三次中学校区共通研究主題）とし、表現力の育成を視点とした研究を進めることとし、引き続き評価方法の改善を行っていく。

2 今年度の取り組み

【取組内容】

まちガイド育成プログラムにつながる授業づくり

○「総合的な学習の時間」における単元開発

- ・ 伝え合う場の設定
- ・ 外部人材の活用

○キャリア教育のルーブリックに基づいた授業実践と評価の在り方

- ・ 評価基準の明確化と共有
- ・ 評価方法の具体化

・児童の変容の見取りの工夫

3 検証方法

- 質問紙調査（自校） 5月・10月・1月
- 総合質問紙調査（i-check）6月・1月
- 全国学力・学習状況調査 4月
- 「基礎・基本」定着状況調査質問紙 6月
- 個の変容が分かる作品等 7月・12月・3月

4 研究推進計画

| 月 | 内 容 | 学力調査等 |
|-----|--|--------------------|
| 4月 | 学校経営計画 研究推進計画立案 | 全国学力・学習状況調査 |
| 5月 | 資質・能力アンケート実施 | 総合質問紙調査 |
| 6月 | みよし学園合同授業研究会【河内小】 総合質問紙調査分析 | 「基礎・基本」児童 質問紙調査 |
| 7月 | みよし学園合同授業研究会【三次小】 1学期学級経営まとめ 1学期研究の検証 | |
| 8月 | 「全国学力・学習状況調査」分析 『広島県「基礎・基本」児童質問紙調査』分析 | |
| 9月 | 指導案検討 | |
| 10月 | 資質・能力アンケート実施 | |
| 11月 | みよし学園公開研究会【三次中学校区】 | |
| 12月 | 2学期 研究の検証 キャリア教育カリキュラム開発事業成果発表会 | |
| 1月 | 研究のまとめ 資質・能力アンケート実施 総合質問紙調査分析（自校分析） 次年度年間指導計画作成 | 三次市学力到達度検査 |
| 2月 | 三次市学力到達度検査結果分析 研究のまとめと次年度に向けた推進計画作成 | |
| 3月 | 学級経営のまとめ 次年度研究推進計画の立案 | |